

## 東郷元帥記念公園 第26回協議会 議事要旨

---

1. 開会(区:村田)
2. 挨拶(区:環境まちづくり部 加島部長)
3. 会長の挨拶(福井会長)
4. 議事

### ① 報告事項

- 1) 上段広場の開放状況
- 2) 遊具の遊び方について
- 3) 中段広場の開放について
- 4) 公園内の樹木について
- 5) 下段広場の整備状況
- 6) 今後の予定について
  - (1) 公園完成記念イベントの開催
  - (2) 「(仮称) 東郷元帥記念公園の管理運営連絡会」の設置
  - (3) アダプト制度について

### 5. その他

東郷公園研究報告1「東郷元帥記念公園再整備による利用者の行動変化」

東郷公園研究報告2「東郷元帥記念公園改修計画における設計要素の意思決定プロセス」

### 6. 閉会(区:村田)

## <議事>

---

### 報告事項に対する意見

#### 5) 下段広場の整備状況

##### ◆委員\_ウッドデッキ脇の植栽柵の水たまりについて

前回の協議会でもお話した、ウッドデッキ脇の植栽柵の水たまりについて何か対策等をしていただいたのか。

(事務局) 前回協議会后、水たまりの位置と状況は確認している。今年度は実施できなかったが、来年度の早い段階で、下の集水柵まで水が流れるような設えに変更する予定である。

##### ◆委員\_門柱のサインについて

ライオンのマークが東郷公園のシンボルになった経緯は何か。

(福井会長) 下段広場がまだ工事中であった時の焼印体験のイベントで用意したデザイン案4案のうち、投票で最も人気があったデザインがこのライオンのマークのデザインであった。

##### ◆委員\_子どもたちの公園の使い方について

公園内には至る所にコンクリートの縁石があり、子どもはそこに乗りたがる。そして落ちたり、つまずいたりするケガが、幼稚園小学校含めて何十件も起きている。一番大きなケガは、結果的には大丈夫であったが、イチョウの周りのコンクリートの上から頭から落ちて、おでこにヒビが入ったことである。また遊具の周りが狭すぎて、かけっこや鬼ごっこをする時に段差があるとそれを飛

び越えていたりしている。植栽と遊び場を区別したいのはわかるが、その間のコンクリートにつまづいたという事故の話聞いたこともある。下段広場で遊ぶ子は、遊び道具を持ってきて遊ぶか、コンクリートをつかっただ鬼ごっこをしている。上段広場に遊具があるので、子どもたちはそこに集まって遊具や鬼ごっこをして遊んでいる。子どもたちがいる時に確認するとこの公園はスペース的に狭い。通行人の方も走ってくる子どもたちを避けなければならない。

(福井会長) このような話は、どの公園でも、広くても狭くてもある話である。解決策は特になく、柵等を立てても役に立たない。子どもはどこかに上ることはある程度予測をしながら、そこで危ないことが起こらないように我々は考えなければならない。今後も情報共有と意見交換ができればと思う。区にもお願いしたい。

(事務局) 公園で実際どういうことが起こっているか、区としても正確にしておきたいので、今後も情報をいただきながら、皆さんが過ごしやすい公園を目指して意見交換の場を設けさせていただきたい。

#### ◆委員\_遊具の使い方について

幼稚園で遊具に関するアンケートを取らせていただいた。その意見をみると、遊具の適用年齢の幅が広すぎるのではないかと感じる。全体的に見ると、難しすぎる遊具と優しすぎる遊具に分かれていて、走り始める3歳ぐらい子から小学校1年生までの子が使いやすい遊具がない。例えば大型複合遊具には階段がなく小さい子は登れないので、すべり台が利用できない。回転遊具も身体能力がある子や使い方がわかる子しか上手く遊べない。回転遊具は他の場所では見守りの人が立っている遊具だと幼稚園の他の保護者からは聞いている。大人も子どもの時に遊んだことのない新しいタイプの遊具が多いので、親も子どもに使い方を教えることができない。いろいろな経験を踏まえて成長を促すことはわかるが、あまりにもレベルが高い。

(事務局) 資料p.2にあるように最近区のHPにインクルーシブ遊具の紹介として、それぞれの遊具の適切な遊び方を掲載している。HPに掲載したばかりで皆さんに周知されていないかもしれないので、この機会にご認識いただければと思う。正しい遊び方、ケガをしない遊び方を知った上で、創造力を加えているいろいろな楽しみ方をしてもらえればと思う。

(委員) 子どもたちにこの遊具の遊び方どう伝えるのかについて、例えば公園課の方が学校に来て子どもたち全員の前で、各遊具の遊び方についてレクチャーすることはできないか。子どもたちはインクルーシブ遊具と言ってもわからない。HPはみようと思って初めて見るものであり、保護者も公園について区のHPを見るとも限らない。申し訳ないが、チラシを配布しても見ない。公園のゴミ等も含めた使い方について、またどのように使うとみんなが楽しく遊べるかについて、是非公園がオープンしたこの機会に、子どもたちに向けて、保護者でもなく先生でもなく公園を管理する立場の方から直接お話を聞く機会を作っていただきたい。

(事務局) 区の子ども部とも連携して、連絡システムの「すぐーる」の活用を踏まえて考えたい。

(委員) 「すぐーる」を子どもは見ない。親も大事なことは見るが、基本スルーするので、直接子どもに伝えないと難しい。九段幼稚園は、園長先生が主導で子どもたちを公園に連れて行って遊び方のレクチャーをしてくださった。そのおかげで、園児ではあるが皿型ブランコも1度に乗る人数を守って順番に乗ることができている。親としてもとても安心である。今の10~12歳の子どもたちは小さい頃東郷公園で遊ぶ機会がなかったので、本当に遊び方を知らない。いろいろな意見や命に係わるケガをされているお子さんがいる中で、さらに中段広場が開放するとどうなるか、親として

もとても心配である。ブランコは皿型でないのだめなのか。

(福井会長) インクルーシブ遊具の導入は行政の方針から決まったことであり、もともとこの公園で予定していたブランコをインクルーシブに対応した製品に変更したという経緯がある。子どもは大きい子が遊んでいる姿を見て、遊び方を学んでいくものである。今の遊具は遊び方が難しいので、どこにもお手本がない。そういう意味で遊び方を体現して見せないと、遊ぶ方によっては危ないということもわからない。それには広報ではなく、プレイリーダーの導入等運用の方で対応する必要がある。これだけ遊具が充実している東郷公園だからこそ率先して対応するべきである。どうすれば子どもたちの中で大きい子から小さい子に自然と使い方が伝わるようなサイクルを生み出せるのか、というところを4月以降でよいので考えていただきたい。試行的に園長先生にどのように伝えているか聞いているのもよい。

#### ◆委員\_皿型ブランコについて

皿型ブランコについて調べた保護者によると、3～5年で交換を推奨しているとメーカーのカタログに書いてあったとのことであるが、3～5年しかもたない遊具なのか。

(事務局) 安全に遊べる遊具であるか定期的に点検を行っている。もし不具合があれば、補修もしくは交換することになる。

#### ◆委員\_遊具についての周知方法について

遊具が急に使用できなくなると、理由がわからないので、いろいろな憶測を呼ぶ。また利用再開されても何が違って開放されたのかがわからないので、もっと周知して欲しかった。

(委員) 遊具の周知については、子どもたちには学校の先生から周知してもらえれば、保護者に関しては、PTAとしていろいろな通信ツールを使ってフォローすることができるので、うまく利用してもらいたい。

(事務局) 区としてはケガをされたお子さんの心のケアを優先し、発信は控えさせていただいたが、事情を知らない方を不安にさせてしまったことは申し訳なかったと思う。今回は正しい遊具の使い方理解が浸透していなかったことが1番の問題であったと思う。校長先生やPTA会長ともご相談をさせていただき、遊具の使い方を浸透させていく段階の1つの手段として、サインの設置やチラシを配布し、少しでも多く子どもたちに正しい遊具の使い方を理解してもらった上で、遊具の利用を再開するという形を取らせていただいた。

(部長) 東郷公園や最近整備された錦華公園は今までにないチャレンジした公園になっている。公園は整備して終わりではなく、本日いただいたご意見を参考に、周知方法も含めて今後検討していきたいと考えている。どんなものでも使っていく中で変わっていくのが自然である。今後遊具を交換する時が来た時等には別の遊具も考えられる。皆さんと意見交換の場を設けて、周知方法も合わせて一緒に考えていければと思うので、是非ご協力をお願いしたい。

#### ◆傍聴者\_上段広場のウッドデッキ-2の隙間について

前回の協議会で、ウッドデッキの隙間にゴミが溜まってしまうこととお話しさせていただいた。下の隙間は周りに木が張られて隙間はなくなったが、段差のところの隙間は見えにくいので、今もゴミが入ったままになっている。

(事務局) 下の隙間については、前回のご意見を受けてゴミが入らないような対応をさせていただ

いた。段差の部分についても確認して対応可能であれば随時対応したい。

#### ◆傍聴者\_ウッドデッキ階段の段差について

前回の協議会でお話しした階段の段差が見えにくい件について、階段の立ち上がりの部分に夕方に光るシールを貼っていただいているが、階段を下りる時は上からは何も見えないので怖い。また小学校側のウッドデッキ階段も、高齢者だけでなく小学校の保護者も見えづらいと言っていたので、段差部分をもう少し見えやすくしていただけるとありがたい。階段は上がる時よりも下りる時の方が心配である。シールは朝光っているのを見たことがない。

(事務局) 区としても試験的にシールを貼ってみたが、効果がないようなので、引き続き段差が目立つようになる素材を探していきたい。

(委員) 今日ウッドデッキの階段を下りて来たが、全く段差が見えなかった。照明も悪いと思う。

(福井会長) 重要な問題であるので、段差に何を付けるのかだけでなく、総合的に対策を考えていただきたい。

(傍聴者) 最初は暗い時に蓄光できるものを探していたが見つからないということで、その後蓄光ではなくてもコントラストがはっきりするものではあればよいのではないかと提案して、探していたが、まだ探している状況か。

(福井会長) 急ぐ話であるので、早めの対応をお願いしたい。また対応しただけではなく、地域の皆さんに情報が届かないと不安に思われるので、掲示板を活用して何がいつ頃できるかについてもきちんと広報していただきたい。

#### ◆傍聴者\_こどもの池について

昨年の夏は猛暑でとても暑かった。見ていると、午前中はケヤキの木陰があるので、子どもたちもプールで遊んでいるが、午後は炎天下なので誰も人がいない。係の男性2人も葦簀の下でじっとしていて気の毒である。昔はこどもの池の周りには木が沢山あったので、葦簀ではなく木を植えて木陰をつくってはどうか。また炎天下で遊具が熱くなって子どもが火傷するのではないかと思ってしまう。新しい遊具ができて、子どもたちが夕方まで遊んでいる。子どもたちの元気な声でこちらにも元気をもらっているのもう少し考えていただきたい。

(委員) プールは幼稚園児までしか利用できないのか。体力のない幼稚園児を炎天下で遊ぶことは保護者もさせないが、小学生なら体力もあり、帽子を被るなど気を付けて利用することができるので、小学生が遊べる時間帯があればと思っていた。

(福井会長) 炎天下でプールに入りたいが、過酷すぎてプールに入れない。公園の改修工事前はかなり樹木があったが、樹木診断をする中で木が入れ替わって小さくなっているところもある。木が大きくなるまでの間、例えば仮設の農業用の黒いシート等で日陰を作る等試行して、夏場の午後の水遊びも楽しむことができる環境を整えていただきたい。

(委員) プール自体、区として小学生は絶対に利用できないものなのか。何が理由で園児までしか利用できないのか。年長の子は今年ギリギリ利用することができて、特に噴水を楽しむことができた。でも来年利用できない。また去年まで年長だった小学1年生の子が学校帰りにランドセルを背負って、プールで遊んでいる子どもたちをずっと見ていたりもしてした。6年生も入りたそうに足だけつけている子がいて注意されていた。小学生は入れないのはわかっているが、つらいだろうなと思う。工事期間中全く利用できなかった小学生もイベント的に利用できるなど何か考えていただ

ければと思う。木の話については、昔は木が沢山あったおかげで木陰もあったが、その代わり蚊も多かったので、今のように木が少ない方が蚊の対策としてはありがたい。夏場だけ仮設の屋根があれば、もっと活用できると思う。

(福井会長) 使いこなしをどうするか、運用でどうするかがこれから問われる。整備して終わりではなく、さらに活用するためにどんな工夫ができるのか、これから積極的に考えていただきたい。

(傍聴者) プールが幼児しか利用できないという話もみんなで話し合っただけで決めてはどうか。

(事務局) 柔軟な対応ができるか確認したい。

(委員) 幼児と小学生が同時に利用するのは危険である。時間や曜日、ルールを決めてはどうかと思う。

#### ◆委員\_プレイリーダーの活用について

子どもたちが新しい遊具に慣れるまでの2～3年の間、昔下段広場のボール遊びの時にいたプレイリーダーの方をおいていただくのはどうか。遊ぶだけではなく、見守りもしてもらえる。ブランコも取り合いの喧嘩も大学生のお兄さんが優しく入れれば穏やかになるのではないかなと思う。

(事務局) ご意見を参考にさせていただき、子どもたちが遊具をうまく使えるようになる環境を整えていきたい。

#### ◆委員\_こどもの池のチェーンについて

プールを使っていない時はあの場所に入ってよいものなのか。ダメなのか。あのチェーンは何ためのものなのか。子どもたちはあの場所で鬼ごっこをしているが、チェーンに足を引っ掛けそうな子が沢山いる。入ってよければチェーンを外していただきたい。一般の方も奥のベンチでご飯を食べたいが入ってよいかと言っていた。本当に入ってダメならもっと周知しないといけない。

(福井会長) 入ってダメな理由はない。広く使った方がよい。

(事務局) 運用上使えなくはないと思う。ただプールにも段差があり、つまずいてケガをする恐れはある。

(委員) 段差よりチェーンの方が怖い。くぐろうとしたり、飛び超えようとして引かかる方が危ない。

(福井会長) 入れなくすることの理由がわからない。皆さんから入りたい要望が出ているので、前向きに検討していただきたい。

(委員) 噴水の部分が砂まみれになると壊れやすいということか。

(福井会長) 砂については、人がこどもの池に入る入らないは関係ないと思われる。

(傍聴者) 朝方や夕暮れはチェーン自体が見えないので、余計に怖い。

(事務局) チェーンがない方がよいとのご意見が出たので、外す方向で検討させていただきたい。

(委員) 夏場のプールを使う時に入らないようにするためのチェーンの設置は、子どもたちも理解できる。段差は使わない時は小学校のように芝生を敷いたり、蓋をしたりしてはどうか。

(傍聴者) 和泉小学校の隣の公園にも同じように噴水施設があるが、冬場にチェーン等はなく出入自由になっている。

(福井会長) 噴水の場所が冬場立ち入り禁止になっている場所を見たことがないので、大丈夫ではないか。

#### ◆傍聴者\_上段広場の出入口脇の植栽樹

上段広場の出入口脇に板柵で囲まれた場所があるが、あそこに子どもたちが上っており、道路側のアスファルトの上に土が落ちる。そもそも上がる場所でないと思うので、上れないようにして欲しい。

(事務局) ご指摘頂いた箇所には、踏圧で樹木の根が傷まないように植栽を植える予定になっており、様子を見させていただきたい。

### 6) 今後の予定

#### ◆傍聴者\_公園に対する要望

夜間の飲酒や自転車の駐輪がひどい。近隣住民として、管理連絡会は単発ではなく、夜も含めて利用状況を確認していただいた上で、議論できる場として欲しい。安全面からは、小学生が帰宅する時間帯に不審者の出たとの情報があるが、警察のパトロールカーのように行政の側で公園の周りをパトロールするだけでも防犯対策になると思う。皿型ブランコのように一度事故があると行政側の対策が十分であったか、予見可能性を問われる。子どものやることはなかなか制御できないので支柱に緩衝材等を巻く等の検討をしていただきたい。また下段広場で危ないと思うのは、小学校の番町学園通り側から斜め横断する通勤通学者が非常に多い。一方で下段広場は鬼ごっこやボール遊びをする子どもがぶつかっているのをよく見かける。公園が通路になっている実態と走り回って遊んでいる子どもたちが重複している状態だといつか大きな事故になりかねないので、出入口の1つを斜め目横断できないように封鎖する等動線を考えていただきたい。最後にボール遊びで使用できるボールについて、テニスボールならよいのか、軟式のボールもよいのか、どこまでがよいのか具体的にわからないと声かけもできない。

(福井会長) このようなことは、行政が決めるルールではなく、連絡会で地域の皆さんがルールを決めてやってみて、厳しすぎるのかまだまだなのか、そのような議論ができるとうい。問題を共有した上で、その問題をどう解決するのか、次の管理運営連絡会は単に相談する会ではなく、どのように運営していくのかを決めていく会にしていきたい。そうでないとせっかくこれまで26回集まってやってきたことが無駄になってしまう。このことは区に強く要望したい。

#### ◆傍聴者\_木の名前について

これからも木を植えると思うが、名前がわかるとよい。

(福井会長) 資料3のp.7イベントに樹名板づくりがあるので、その樹名板が設置されれば名前がわかるようになると思う。

#### ◆傍聴者\_防犯カメラについて

防犯カメラは、夜もきちんと映るものなのか。

(事務局) 画角によって見えづらい箇所はあるかもしれないが、夜も稼働して見える機器になっている。

(福井会長) 防犯カメラは、夜は動いている人の顔は見えにくいですが、止まっている人の顔ははっきり見えるようになっている。

#### ◆傍聴者\_下段広場のウッドデッキについて

前の日に雨が降った冬の寒い日の朝に、表面に薄く氷が張っていて、全体がスケートリンクのようにツルツルになっていたことがあった。朝も高齢の方や通勤の方が多く通る場所なので、何か対策はできないものか。

(福井会長) その対策はすぐには難しいと思う。そのような事象があることを情報共有していただいて、そのような気象の時は気をつけていただけたらと思う。

◆傍聴者\_小学校脇のウッドデッキ階段脇の斜面地について

小学校脇のウッドデッキ階段脇の斜面地に子どもが入っていて、落ちそうである。子どもが入りたい気持ちはわかるが、暗いと全く見えないし、落ちると大変危険なのでやめさせた方がよい。柵を高くしても子ども身体能力は計り知れないので、足場がないようにした方がよいかもしれない。その下の小さなライオン像の周りも笹みたいなのが生えていて、それで目の周りを切って縫ったお子さんがいるので、その上から落ちると大きなケガにつながる恐れがある。禁止はダメであるが、あそこは禁止にした方がよいと見ていてずっと気になっていた。中段広場が開放した後もあそこはあのままなのか。草木が生い茂ると余計危ない。

(事務局) 今利用実態を把握させていただいたところであるので、物理的に入れなくするのか、ソフト面でカバーするのか、考えさせていただきたい。

(福井会長) 危ない状況に対しては、すぐに解決策が出るものではない。状況を共有して、色々なパターンをよく検討した上で対応案を出していただいた方がよい。

以上